



This is a secret! Caution! Thi

! This is a secret! Caution

# Girls Put Out! Petit

## ガールズ プットアウト! プチ

**DOJIN**  
**R18**  
成人向け

18歳未満の  
購入・閲覧禁止

Cut.03 Aqua & Yunyun

ふあああああ  
のんだああえへへ

あえええ...トイレえ...びん



まあいーやあ...かしゆまも  
この前そのへんできてたじい  
おじっこのしちやおー

あー...ぎもぢー  
かちよーぶーげちゆー...なんちやつてー...えへへ

ポポポポポポ  
ポポポポポポ  
ポポポポポポ





「あれ…なんれ私裸なんらっけ…?  
あー…そうだあ…おなにーしてる途中らったあ…♡」

「えへへ…♡おまんこお…ぐちゅぐちゅ…♡  
きもひいい…♡♡♡」

「飲んだ後にいい…♡おにやにーするの  
さいこお…♡ふわふわくっつけてえ…♡  
いつちやうのおお…♡♡」

「あつ…♡イクっ♡おまんこ♡イクくううう♡♡♡♡♡」

「ぐちゅ♡  
ぐちゅ♡

「ぐちゅ♡

「ぐちゅ♡

「おにやにー♡  
おにやにー♡



タクネスがウィッチの店から  
買って来たコレ！  
あまりにも邪魔な見た目だったから  
没収してきちやっただけど…

コレって…やっぱり  
（そっつい）モノよね…  
なんだか勝手にうねうね動くし…  
へんな汁出てるし…  
呪いのアイテムじゃないか  
アークプリーストの私がチエックしなきゃね…

「はあっ…♡はあっ…♡  
大丈夫かな…♡  
私…こんなの使った  
コトないし…」

「あんっ…♡見た目はキモいけど  
当ててるだけでも結構キモチいいかm…」

プルプル

ムちゃっ

うね  
うね

ガ  
バ  
♡





はーん  
はーん  
はーん  
はーん

ふんふん

ムチムチ

うね  
うね

か  
ハ  
っ

「んひよっ!? おほっ♥♥ホツ♥♥  
にゅっ♥♥にゅにゅにゅにゅっ!?」

「勝手に挿ってきてっ♥♥ん おお♥♥  
しよっ♥♥♥♥お尻いい♥♥♥♥」

「んお♥♥おっ♥♥おお♥♥♥♥  
じゅぽじゅぽお♥♥オツ♥♥  
おまんこ抜けにゅいっ♥♥♥♥」

「おんっ♥♥おっ♥♥おっ♥♥おっ♥♥  
イグっ♥♥イグイグっ♥♥  
はげししゅぎりゅっ♥♥♥♥」

んおっ

「おまんこ壊れて  
イツちやうよおおおお♥♥♥♥♥♥」

ちゅっ  
ちゅっ  
ちゅっ

じゅっ  
じゅっ  
じゅっ

ガッ  
ガッ  
ガッ

ポッ

ちゅっ  
ちゅっ  
ちゅっ

じゅっ  
じゅっ  
じゅっ

ちゅっ  
ちゅっ  
ちゅっ







んがっ

んがっ

んがっ

んがっ

んがっ

んがっ

んがっ



『ぎ』やああああああああ!!』

『放せっ!!』やあっ!!あっ!!...  
バカっ!!おもちゃは使った  
コトあるけど  
まだ初めてなのよう!!』

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ

『あ』あ』あ』あ』あ』ギ』モ』イ』い』い』!!  
こ』び』ち』び』ち』する』な』あ』!!』なん』で』一』人』の』時』に』限』っ』て』こ』う』な』の』よ』お』お』!!  
私』は』イ』イ』モ』ノ』が』あ』る』っ』て』聞』い』て』き』た』だ』け』な』の』い』い』い』!!』



Aiu

Aiu

A

A

Aiu

A

A

「あつあつおつおつほほほ♡♡♡  
イツグツ♡♡♡んほつ♡おつ♡♡♡」

「あつ…まただひやれたあ…♡♡♡  
んへっ…お、おまんこっ…♡♡♡  
おかひく…なりゅっ♡♡♡」

「しよひゅ♡ちんぽお…♡♡♡  
きもひいの…♡♡や…あ♡あつ♡あああ♡♡♡」

「まらじゅぼじゅぼきたあああ♡♡♡  
もうゆるひっ♡♡んお♡おおつ♡オっ♡おおおおおおおおおお♡♡♡♡♡♡♡」





「んおツ♡おっ♡おへっ♡  
街中なのにつ♡さつきからアクメとまらないい♡♡♡♡♡

「んぎっ♡ぎもぢいい♡♡  
あのダンジヨンは最悪だったけど♡  
コレ見つけたのはラッキーだったわ♡♡♡

「あのリッチの店に売ったら♡♡おんっ♡  
おっ♡大儲k♡おっ♡んあ♡♡  
服の下で♡♡ちくびい♡♡ひやあんっ♡♡♡

「やあっ♡♡おっばい様まれひえっ♡♡らめっ♡♡♡  
スゴいのくるっ♡♡アクシズ教の女神様が街中で  
変態アクメキメてるのバレちゃうう♡♡♡♡♡





数時間後：

「おおっ…♡♡♡おほお…♡♡♡おほっ…♡♡♡  
♡♡♡おほおおおお…♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

あれからココですっといきっぱなし…♡♡♡  
服もいつの間にかコレに脱がされてっ…  
色んな人に見られてるのにい…♡♡♡

身体中キモチよすぎて  
それどころじゃないい…♡♡♡  
むしろ見られながらイクのキモチいいよお…♡♡♡

「んへへ…♡♡♡酷い事言われてるのにおまんこも  
ちくびもキモチいいの…♡♡♡んあっ♡♡♡えへっ♡♡♡  
イクっ♡♡♡♡♡♡♡みんなに見られてイクっ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡



おおお

んお

おっ

おっ

おっ

おっ





お...お...お...  
お...お...お...  
お...お...お...

お...お...お...  
お...お...お...  
お...お...お...

お...お...お...  
お...お...お...  
お...お...お...

お...お...お...  
お...お...お...  
お...お...お...

お...お...お...  
お...お...お...  
お...お...お...

お...お...お...  
お...お...お...  
お...お...お...

お...お...お...  
お...お...お...  
お...お...お...





どうせ誰にも顔覚えてもらえないし  
どれだけ探してもなかなかみんなに会えなくて  
気まぐれでちよつとだけエッチな事してみたら...

私...いつの間にか紅魔族で一番の変態になつちやつたかも...

「はあつ...♡はあつ...♡♡♡やっぱり♡♡♡...誰もいないわね...♡♡♡」

「え△△...おっぱいまるだしっ...♡♡♡」

「んんっ...♡風が当たってっ...♡♡♡  
乳首勃ちちやつっ...♡♡♡」

「この服っ...おっぱいすぐ出せちやつ...♡♡♡  
今思えばっ...♡私こんなエッチな服着てたんだあ...♡♡♡」

「はあつ...♡はあつ...♡我慢できないいつ...♡♡♡  
どうせ誰にも見つけてもらえないし...♡♡♡  
今日も...シちやおつかかなあ...♡♡♡」

ポッポ



わんわん

わんわん

わんわん

わんわん

「んあつ...あつ...あつ...もうぶちよぶちよになつてる...  
恥ずかしい...んっ...」

「ふ...ふ...ふ...キモチいい...  
お外でオナニー...しゅきい...」

「紅魔族のみんな...きつとごんなコト  
してないよね...あひつ...  
私だけ...変態なお...」

「あつ...イクっ...変態オナニーでイのちやうつ...  
あつ...あつ...あつ...イクっ...うううううう...」





〜ん  
〜ん  
〜ん  
〜ん  
〜ん  
〜ん

〜ん  
〜ん  
〜ん  
〜ん

ムムムムム

ムムムムム

ムムムムム

おっ  
おっ  
おっ  
おっ

〜ん  
〜ん  
〜ん

「ふわあ〜♡♡♡♡♡しゅわしゅわって  
飲んだらこんなにあっつくんだあ〜♡♡」

「すっごいふわふわしてえ〜きもちいい〜♡♡」

「はあく♡あつつくい〜♡しよっだあ〜♡  
いつもみたいにおっぱいだしちやあ〜♡♡」

「はあっ♡」

「はあっ♡」

「はあっ♡」

「んんん〜♡みんな♡おっぱいまるだしでしゅよ〜♡」

「うう〜誰にも気づかれない〜じゃあおまんこもだしちやえ〜♡♡」

「ぐんぐん」







ほっほっ♡

ほっほっ♡

ほっほっ♡

ほっほっ♡

ほっほっ♡



「うう... 誰にも気づかれない...」  
「まあ... わらひが変態らってバレなくてしゆんだからイイけど...」

「んん... どうせならどこまでバレにやいが  
チャレンジしちやあつかない...」

「あ... おひっこしたくなってきちやうたあ...」

「ぶるん...」

「もろ...」

「えへっ... スカート脱いでえ...」  
「おしっこ... だしちやえ...」

「あ... あっ... あっ... みんな騒いでる影でおしっこしちやってる...」  
「きもちいい... はああああ...」





あははは

あ

あははは

あははは

あははは

あははは

酒場で露出プレイしている所を見られて  
サキュバスのお店でバイトする事になったゆんゆん

「あ…あの…なんで私だけこんな格好なんですかあ…!?」

「だってあなた…誰かに裸見られたくらいで…って思ってる変態さんでしょ?  
大丈夫よ…このお店の中ではあなただってバレたりしないから…」

「はっはっはっホントですか…?」

「ホントよ…だから結構ソツチ系の趣味の…  
バイトしてるのよ…お仕事頑張ればすぐお友達になれるわ…」

「お…お友達!? 私みたいな変態にお友達なんて…  
わ、私っ…がんばりまひゅっ!!」

「たっ…」

ドキ

ドキ

ドキ

ドキ





数時間後…

「はあつ…はあつ…はあつ…お客さんにつき…  
身体中視姦されながらお仕事しやるのキモチいいツツ…」

「たまにはチツアぶっかけてもらっただけなのにつ…  
乳首もっ…おまんこもっ…キモチよくなくていつちやらよお…」

「あつ…あつ…あつ…  
くしゃあいの…  
イイ具いつ…」

はっ

はあーっ

ゾ  
ゾ  
ゾ  
ゾ  
ゾ  
ゾ  
ゾ

カ  
カ  
カ  
カ  
カ  
カ  
カ

ピ  
ピ  
ピ  
ピ  
ピ  
ピ  
ピ

「あつ…あつ…あつ…  
あつ…あつ…あつ…  
あつ…あつ…あつ…  
あつ…あつ…あつ…  
あつ…あつ…あつ…  
あつ…あつ…あつ…  
あつ…あつ…あつ…  
あつ…あつ…あつ…」

ピ  
ピ  
ピ  
ピ  
ピ  
ピ  
ピ





サキユバスのお店で〇〇な夢を  
見せてもらったゆんゆん

『あ、あれ…？…もう夢の中…なの？  
きやつ…嘘…街の中で裸…』

（そうですよ……ここではどんなにやらしいコトをしても  
大丈夫ですので好きなだけ楽しんでくださいね♡）

『サキユバスさんの声…？  
ホントだ…私…こんな格好なのに  
誰にも気づかれない…』

『あ…あの…？  
皆さん…見えてますか…？』

『は…夢の中でも誰にも見てもらえない…  
皆さん……変態がいりますよお…』

『はあ…♡はあ…♡だ、誰かあ…♡  
見てえ♡紅魔族一の変態の…ゆ、ゆんゆんですよお…♡』

ど、どうしようっ♡誰にも見てもらえなくて  
悲しいの…♡惨めなの…♡

興奮してやめられない♡♡♡このままじゃ  
おがしくなっちゃうよお…♡♡♡

















# GirlsPutOut! Petit cut. 03

著 者:ピケル

編集者:弦乃ぱいん 編集協力:美月(st R.t.C)

発行日:2020年6月19日

発 行:つるつるパイん

ピケルtwitter  
(@pikel916)



つるつるパイんtwitter  
(@tsurupaiinfo)



mail:info@tsurupai.xii.jp

★警告★本作品の全部又は一部を当サークルに無断で加工・改変し、公衆回線を通じてインターネット上に公開する事を固く禁じます。また本作品は架空の世界を題材にしたものです。実在の団体・人物・法律等とは一切関係ありません。フィクションはフィクションとしてお楽しみください。